

梅郷駅東口自転車等駐車場開設	1～3面
市民会館をより利用しやすく	4面
20年度決算の概要	6～7面
15万人のひろば	8～9面
おしらせ・11月の相談日	12～13面
11月の休日当番医	16面

八ッ場ダムの治水効果 再検証を大臣に要望

1都3県の13市区町で構成し、根本市長が会長を務める「江戸川改修促進期成同盟会」が、10月7日に国土交通省を訪れ、前原誠司大臣あての「八ッ場ダムについて建設中止を前提とせず、地元住民の意向を踏まえ、建設の是非を決める前に治水面からの徹底した情報公開を行い整備の必要性の再検証を求める意見書」を、国土交通省へ提出しました。



意見書を河川局長に

意見書では、国が八ッ場ダムの治水面からの無用論の根拠として、吾妻川流域で150から200ミリの雨しか降っていない、昭和22(1947)年のカスリーン台風の降雨パターンのみを検証していると聞いていることから、同盟会では、ひとつの洪水時の降雨パターンを前提とした建設中止の判断ではなく、影響があるといわれる29の洪水時の降雨パターン全ての情報を開示した上で、下流域住民の安心安全のためにも治水効果を検証していただくことを、早期にお願いするものです。

中でも、同計画で重点的に取り組むべき事業の一つとして位置づけた、「梅郷駅周辺のまちづくりを進めるため、平成19年には東西連絡自由通路整備を、西口駅前広場と東口駅前広場などを整備し、これまで駅の西側

さらに市では、東口の整備にあわせて、今年1月から、駅前広場の南側に、東口市営駐輪場の建設を進めてきました。12月1日には、敷地面積824.07平方メートルで、自転車千570台と原動機付自転車80台を収容できる、地下1階、地上3階建ての駐輪場を開設します。開設時間は、毎日4時30分から翌日1時までで、施設には管理人を置き、受付や管理業務を

(2面に続く)

市では、総合計画で「梅郷駅周辺のまちづくり」を重点事業の一つとして位置づけ、東西連絡自由通路や駅前広場、駅前線の整備などを行い、交通の円滑化や安全性の確保に努めてきました。今年12月1日には、東口市営自転車等駐車場(駐輪場)を開設するとともに、駅周辺をより良い環境にしようと放置禁止区域に指定します。さらに、開設に伴い、既存の市営駐輪場の料金の見直しも行い、12月から引き下げます。

市では、市民の皆さんの意見を盛り込んだ「総合計画(新市建設計画)」に基づき、住みよい街づくりを目指して、交通の円滑化や安全性を確保するため、道路や駅周辺の整備を進めています。

千570台の自転車を収容

に集中していた交通機関の東西への分散や、東西間の行き来、さらに東側の鉄道利用者の利便性の向上などに努めてきました。

12月1日 梅郷駅東口市営駐輪場開設

使用料は梅郷駅月額千500円に、野田市駅月額千円に改定
川間駅月額千円に改定

学生は最大で500円引きに

梅郷駅の新規申込受付は11月15日から



自転車の移動は自走式ベルトコンベアーで便利に